

# 2905



レーザーフィルムデジタイザー  
**2905<sub>M</sub>**

医療機器製造販売認証番号:21400BZZ00160000

# 2905



# 高画質とスピードを両立させる **2905M** レーザーテクノロジー

## レーザーだから実現できる高性能

### マンモグラフィーのスキャンにも十分な圧倒的高画質

フィルムデジタイザーの画質を決めるポイントは画像の暗い部分の再現性です。2905Mは標準でも光学濃度4.30まで、高濃度オプションをつければ光学濃度4.70までに対応。レーザーだから高濃度の部分もノイズが目立ちません。CCDでは再現が難しいとされる暗い部分の微妙な濃淡を確実にデジタル化します。また14bitsのA/Dコンバーターを採用\*。きめの細かい自然なトーンが得られます。ピクセル間隔は50μmから2000μmまで1μm単位で指定可能。高画質が欠かせないマンモグラフィーから一般撮影まで、画像の特性に合った条件でスキャンできます。

\*出力画像データは12bitsまでです。

## ドイツが認めた実力

2905シリーズは、2003年ドイツのBAM (Bundesanstalt für Materialforschung und-prüfung:連邦材料研究・試験所)の厳しいテストを経て、同所から世界最初のDSクラス(高濃度オプション実装時)のフィルムデジタイザーとして評価されました。

\*認定されたのは当時のヨーロッパ輸出仕様の2905です。現在日本で販売しているモデルと異なる部分がありますが、画質に影響する光学系は同一です。

## 長尺フィルム・特殊サイズフィルムに対応

下肢の撮影に使用する14"×42"などの長尺フィルムや特殊なサイズのフィルムのスキャンが可能です\*。

\*フィルムの短辺の長さが364mm以下のものが対象です。

## 高速スキャン

14"×17"(半切)フィルムを約6秒の高速スキャン(200μm, 高速モード)。CCD方式のフィルムデジタイザーと比べ、2905Mのスキャンの速さは一目瞭然です。



## 使いやすい高機能ソフトウェア 別売のアレイDICOM画像ビューアーソフトAOC\* が医療現場でのさまざまなニーズを満たします。\*スキャンオプション

### DICOMイメージサーバーへの送信

フィルムをスキャンして得られた画像データに検査情報を付加してDICOMイメージサーバーに送信できます。各項目が日本語に対応しているほか、氏名にはさらに通常の漢字名に加えてふりがなとローマ字表記が同時に使用できます。検査情報の入力方法には、キーボードからの入力のほか、オプションでDICOMモダリティワークリスト、バーコードリーダー、磁気カードリーダーなどがあります。また一度入力した患者情報は患者IDから入力できます。



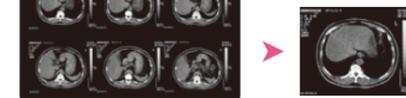
### 高品質等倍デジタルデュープの作成

DICOMイメージャーを使うと、オリジナルフィルムと同じサイズの高品質“デジタルデュープ”を作成できます。1回のスキャンでイメージサーバーへの送信とデジタルデュープの作成が同時にできるほか、コピー感覚でイメージサーバーへの送信なしでデジタルデュープを作成する“コピーモード”があります。またデジタルデュープには、デュープであることを示す文字が入られます。



### 画像分割機能

マルチイメージフィルム(1枚に複数のコマが配置されたフィルム)をスキャンする場合、アレイ独自の画像解析エンジン“SmartClip 2”によって自動的に画像を各コマに分割・位置合わせできます。またミックスフォーマットのフィルム画像も手動で分割できます。



\*フォーマットによっては自動分割できない場合があります。

### フィルムサイズによる条件設定機能

フィルムサイズによってスキャン条件を自動的に設定できます。たとえば小さいフィルムは細かいピクセル間隔で、大きいフィルムは通常のピクセル間隔で自動的にスキャンするように設定できます。

### スキャン条件登録機能

スキャン条件に名前をつけて登録することができます。フィルムの種類によってスキャン条件を登録しておく、同じフィルムサイズでもスキャン時に条件を選択すれば、最適なスキャン条件でスキャンできます。



### AOCが提供する多彩な機能

そのほかアレイのDICOMビューアー AOCならではの多彩な機能が使えます。機能の例

- ・ユーザー管理機能
- ・ローカルデータベースでの画像管理
- ・5種類の検索機能
- ・使いやすいバックアップ
- ・DICOM属性情報(患者・検査・シリーズ情報)の再編集
- ・DICOMデータ構造の変更(画像・シリーズの分割・結合)
- ・DICOMイメージサーバーへの再送信
- ・デジタルデュープの再出力
- ・DICOMサーバーからのデータ取得
- ・DICOM画像診断装置からのデータ取得
- ・高機能ビューアー
- ・パン、連続ズーム、トーン(線形、S字、ガンマ)変更、オーバーレイ、シネ表示、過去画像比較
- ・各種画像ファイルの読み込み・書き出し (JPEG・JPEG2000・TIFF・BMP・PGM・RAW)

## 2905MとAOCで実現する持ち込み画像ソリューション

### イメージサーバー送信+デジタルデュープ作成

外部から持ち込まれたフィルムの画像をスキャンして新しい検査情報を付加し、\* 1 DICOMイメージサーバーに送信 2 保管用の高品質等倍デジタルデュープ作成 3 画像データをAOCローカルデータベースへ保存 できます。もちろんスキャンは1回のみでOK。いったんAOCのローカルデータベースに画像データを保存すると、デジタルデュープを再プリントしたり、検査情報を再編集してイメージサーバーに再送信したりできます。



\*オプションでDICOMモダリティワークリストが使用できます。

### 持ち込み画像データの検査情報を編集してサーバーに送信

外部から持ち込まれたCDなどの画像データ\*1を読み込んで、検査情報を編集\*2して 1 DICOMイメージサーバーに送信 (IHEのIRWFに対応可能)\*3 2 AOCローカルデータベースへ保存 できます。いったんAOCのローカルデータベースに画像データを保存すると、検査情報を再編集してイメージサーバーに再送信できます。



\*1 JPEGなど、DICOM以外の各種形式の画像データが読み込めます。  
\*2 オプションでDICOMモダリティワークリストが使用できます。  
\*3 オプションです。

高画質だから見えてくるものがある



おもな仕様

項目	仕様	項目	仕様
スキャン対象	X線フィルムの透過濃度	スキャン時間	約6秒 (14" × 17"標準モード/200μmピクセル)
測定濃度範囲	0.00 - 4.30 0.00 - 4.70 (高濃度オプション)	光源	He-Neレーザー 波長633nm
ピクセル間隔	50 - 2000μm (1μm単位で設定可)	センサー	フォトマルチプライア
フィルムサイズ	短辺364mm以下のフィルム	スキャン方式	ポリゴンミラー + f-θレンズ
自動認識できるサイズ	14" × 17" (縦) 14" × 14" 11" × 14" (縦・横) 10" × 12" (縦・横) 8" × 10" (縦・横) 5" × 12" (縦) B4 (縦・横) 18cm × 43cm (縦) 30cm × 40cm (縦) 20cm × 40cm (縦) 15cm × 40cm (縦) 30cm × 35cm (縦・横) 30cm × 30cm 24cm × 30cm (縦・横) 15cm × 30cm (縦) 24cm × 24cm 18cm × 24cm (縦)	ADコンバーター	14bits・16384階調
外形寸法	W526 × H330 × D766mm	有効出力ビット数	12bits
		内蔵LUT	入力14bits / 出力16bits
		スムージング	スーパーサンプリングによる デジタルスムージング (高画質・標準モード)
		インターフェイス	USB 2.0
		ドライバー対応OS	Windows 11 Windows 10 (64bit版、32bit版)
		質量	約56kg
		電源	AC100V 50 / 60Hz
		消費電力	500W
		付属ソフトウェア	スキャン 表示階調変更 連続ズーム 光学濃度計測機能 各種画像ファイルの出力 TWAIN データソース 簡易スキャンプログラム モアレ低減モード

## 2905Mをパワーアップする充実のオプション

Option

### Array AOC (スキャンオプションつき)



AOCスキャン操作画面

2905Mの機能・性能をフルに活用するアレイのDICOM画像ビューアーソフトです。2905Mでフィルムをスキャンし、検査情報を付加してDICOMイメージサーバーに送信できます。またDICOMイメージャーと接続すると、高画質等倍デジタルデューブが簡単に作成できます。ローカルデータベースを装備。スキャンした画像はもちろん、持ち込みCD、画像診断装置、イメージャーなどから取得した画像をいつでも参照でき、データのバックアップも簡単です。もちろん画像表示機能も充実。補間しながらの連続ズームや線形・非線形トーンカーブ (ガンマ、S字) のリアルタイムの変更など、本格的なビューアーの機能を備えています。CD作成オプションを使うと選択した検査画像データをビューアーつきでCDに書き込めます。

\*一部の機能はオプションです。

### オートフィーダー



オートフィーダー装着状態

最大100枚のフィルムをまとめてスキャンできる装置です。サイズの違うフィルムを混ぜてセットできます。手差しで1枚ずつスキャンすることも可能です。



安全にお使いいただくために

●ご使用前に添付文書とユーザーズガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。 ●表示された正しい電源・電圧でお使いください。

Array Corporation アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10

tel. 03-3320-3911 fax 03-3320-3696 sales@array.co.jp www.array.co.jp

© 2008-2025 Array Corporation

2905Mロゴ、Array Corporation ロゴは、アレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社、製品、サービスの名称は一般に各社の商標または登録商標です。

この資料の記載内容は2025年4月現在のものです。

この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。